

大田原市民の 生命を守る政治の 実現について

代表質問

公明自民クラブ
中川 雅之 議員



県立夜間中学校の 本市誘致について

質問… 医師と患者間での遠隔医療であるオンライン診療では、通院に伴う患者負担の軽減や継続治療の実現、訪問診療及び往診等に伴う医療従事者の負担軽減、また新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染リスクの軽減が期待されています。地方においては、慢性的な医師不足、医師の高齢化が進んでおり、今後地方の医療の充実を考える

上では、オンライン診療の推進が必要であると考えます。オンライン診療の推進、充実について本市の考えを伺います。

答弁… オンライン診療のメリットは、通院に係る時間と費用の削減が可能、スマートフォンとインターネット環境があれば、かかりつけ医療機関と違う場所でも診察が受けられ、院内感染や二次感染の心配もありません。

質問… 医師と患者間での遠隔医療であるオンライン診療では、通院に伴う患者負担の軽減や継続治療の実現、訪問診療及び往診等に伴う医療従事者の負担軽減、また新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染リスクの軽減が期待されています。地方においては、慢性的な医師不足、医師の高齢化が進んでおり、今後地方の医療の充実を考える

制は、フレックス学校として、拓陽高校の校舎に入る計画になつていきます。夜間中学校を拓陽高校に、中高一貫定時制校として、教育ができないものか、通いたくても通えない、オンラインで授業をするより、生きた教育校、教育環境の整備が必要だと思えます。県北地域には夜間中学校が未設置であり県北広域連携による誘致について伺い

答弁… 令和11年から那須拓陽高校にフレックスハイスクール校が新設される予定であることも承知しています。今後、県北地域のニーズ等、近隣の市町教育委員会とも情報交換を行いながら、ニーズが高いということであれば、近隣の市町と協力して、県教育委員会の方にも相談をしていくという形を取っていきたいと考えています。

質問… 県立夜間中学校の本市誘致について伺います。

答弁… 県教育委員会関係者が一堂に会した連絡協議会を経て、栃木市の学悠館高校に開校されることとなりました。

質問… 現在栃木県では、第3期県立高校の再編計画が出され、那須拓陽高校と那須清峰高校が一つになり清峰高校に移動し、大田原東高校と矢板高校の定時

実施に当たり、システム導入費用や、オンライン診療手数料が発生する事も想定されています。

質問… オンライン診療訪問車両の導入について伺います。

答弁… オンライン診療の推進・オンライン訪問診療車両の導入については、先進事例を確認しながら、地域の実情に合わせて、地域全体、また本市として導入可能か調査研究していきます。